

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	胃食道接合部癌を対象とした、最小限の胸腔鏡補助的操作を伴う経裂孔的 腹腔鏡手術の安全性と有用性を評価する単施設前向き観察研究
	研究目的	腹腔鏡下に経裂孔操作で行われている食道胃接合部癌のリンパ節郭清操 作および吻合操作に、最小限の胸腔鏡補助的操作を併用することで、胸腔 からの観察および術野展開などの補助により安全な吻合操作の定型化が 可能となる。また、リンパ節郭清部位の胸腔鏡観察により、腹腔および縦 郭リンパ節郭清領域の連続性が確認でき、腫瘍学的にも質の高い術式定型 化が担保される。従来、診療科で行ってきた、腹腔鏡下経裂孔アプローチ による術式に、補助的に胸腔鏡観察と最小限の操作を加えた術式で、安全 性と有用性を評価する。
	研究期間	西暦 2017 年 11 月 16 日 ~ 西暦 2019 年 3 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を 利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input checked="" type="checkbox"/> その他(手術ビデオ) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	研究責任者	神奈川県立がんセンター消化器外科 部長 吉川 貴己
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診 療科/部局等	消化器外科胃食道
	共同研究の場合、共同 研究機関および各施設 での研究責任者	なし